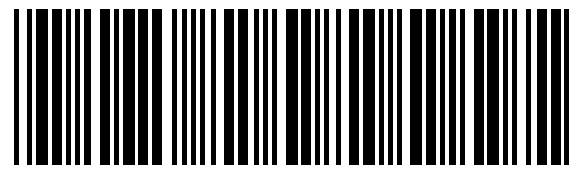


# 記入例（海外へ渡航することにより扶養から外れる場合）



令和 XX 年 XX 月 XX 日提出

日本年金機構

## 提出者情報

届出記入の個人番号(基礎年金番号)に誤りがないことを確認しました。

事業所所在地 〒 XXX - XXXX  
三重県〇〇市〇〇町〇-〇

事業所名称 〇〇市立〇〇小学校

事業主氏名 学校長 共済 一郎

電話番号 059 ( XXX ) XXXX

提出者情報欄の証明印は不要です。事業主については、

1. 県費職員の一般組合員の場合
  - ①小中、県立学校に在籍する方 → 学校長
  - ②県教委事務局に在籍する方 → 県教育長
  - ③埋蔵文化財センターに在籍する方 → センター長
2. 県費職員の短期合員の場合 → 空欄のまま提出
3. 市町費職員、大学教職員の場合 → 任命権者 (市町教育長、市町長、学長など)

## A. 配偶者欄 (第2号被保険者)

配偶者とは組合員本人のことで、(第3号被保険者の配偶者)

氏名 公立 太郎

個人番号 [基礎年金番号] X X X X X X X X X X

住所 〒 XXX - XXXX  
三重 都道府県 〇〇市〇町〇-〇〇

個人番号を記入した場合は住所の記載を省略することができます。基礎年金番号を記入した場合は、必ず住所を記載してください。

届出内容に応じて、該当・非該当(変更)のいずれかを○で囲み、記入してください。

## B. 第3号被保険者欄

この届書記載のとおり届出します。

氏名 (氏名) 公立 花子

住所 1. 同居 2. 別居  
三重県〇〇市〇町〇-〇〇 公立一郎 様方

第3号被保険者になった日 9. 令和

理由 1. 配偶者の就職 2. 婚姻 3. 離婚 4. 収入減少 5. その他

第3号被保険者でなくなった日 9. 令和

理由 1. 死亡(令和 年 月 日) 2. 離婚 3. 収入増加 6. その他(海外居住による喪失)

備考 14. 海外住所: XXXXXXXXXXXX 国内協力者: 福利良子(母)

必ずチェックをいれてください。

国内協力者の住所を記入してください。郵送物等の送付先として、国内協力者である親族の住所を必ず記入してください。

非該当を囲んでください。

海外居住のまま海外特例(国内居住要件の例外)に該当しない事由が発生した場合は、第3号被保険者ではなくなるため、非該当(変更)の欄を記入してください。なお、理由欄は(6. その他)を選択し、理由を記入してください。

海外住所を記入してください。なお、国内協力者である親族の氏名及び第3号被保険者との続柄を記入してください。

※この届出において、理由「2. 離婚」または「3. 収入増加」は、日本国内に住所を有する方のみが選択することができるものになります。

## 医療保険者記入欄

届出記載の第3号被保険者は、健康保険組合又は共済組合に加入している者の被扶養者であることを確認する。

認定年月日 令和 年 月 日 (「9. 第3号被保険者になった日」と同じ場合は、記載の必要はありません)

所在地 〒 514 - 8570  
三重県津市広町1-2番地

名称 公立

代表者等氏名 支部長

電話 059 ( 224 ) 2994

「医療保険者記入欄」は共済組合で記入・証明をしますので、空欄のまま提出してください。